

Donguri Club

Spring Camp

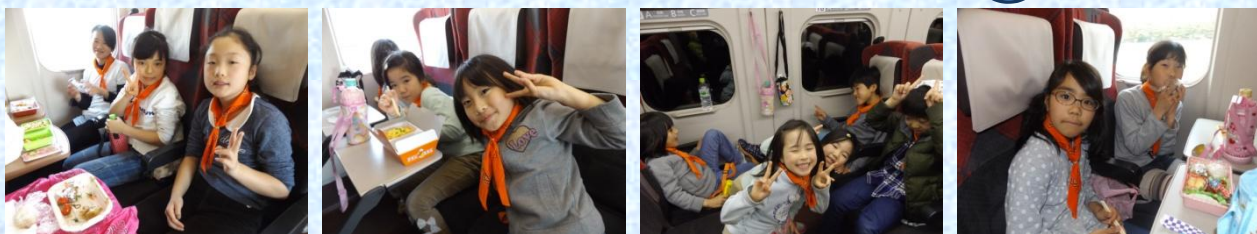
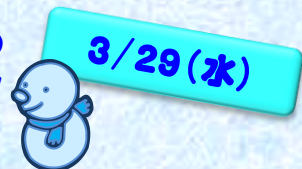
2017



In Togakushi

2017.3.29~4.1

新幹線の中から盛り上がっていました。お弁当・駅弁とお好みの昼食です。縦の木に着いたらお庭はたくさんの雪！青い空とのコントラストがとてもきれいです。着替えたら早速雪遊び開始！



↑雪遊びの前に雪に缶を埋めてアイスクリームを作ることになりました。毎年チャレンジしているのですが夜中に動物が食べてしまうので今回は夕食後にできることに期待です。

↑縦の木山荘のお庭は一面の雪。積雪の多さにビックリです。到着直後にお庭に駆け出していきました！

↓段ボールの荷物を開けてウェアを引っ張り出し雪遊び開始です！除雪してある小山からソリ！電車でムズムズしていた体を解します。日暮れまで何度も滑っていました。春なので日没まで十分遊べます。



↓雪遊び終了後お風呂に入って暖炉のあるリビングで一息。夕食まではウノをしたり本を読んだりと思い思いの時間を過ごします。夕食の席は佐藤先生が独断で毎回決めます。

↑ソリ・トンネル作りと遊び方は色々です。新雪の上に寝て手足を左右にバタバタするとエンジェルの形ができます。トンネルを作るのはとっても大変でした。これっぽちの穴を掘るのに30分以上はかかったでしょうか。つかれた～!!

↓夕食後のスキー講習会です。靴合わせをしてスキー板の装着方法を覚えます。初心者はこちらが難関です。明日上手にできるでしょうか。板が装着できたらストックの持ち方も覚えて!!



↑夕飯は前菜が大根と豚バラ煮付け・ほうれん草のグラタン、メインはチキンソテーでした。みんな完食で健康状態良好！

←みんなが寝ているのは置き上がり方の練習している様子です。子どもは体が柔らかいので、どうしても起き上がるのことができるのですが、立ち位置を間違えるとまたすぐに転んでしまいます。山側・谷側を理解して脚を揃え立ちましょ。転んでも慌てずに山と谷をよく考えて立ってくださいね。

3/30(木)



いよいよスキー開始。初参加の子は靴の装着が第一の難関です。着けたつもりでも歩いてみると「とれちゃった!？」と四苦八苦していましたよ。誰もが通過する難関ですがコツを得れば簡単です。お昼は雪のテーブルでカレーです。戸隠山を見ながら食べるカレーは格別です！

→ 朝食はみんなの大好きなパンです。野菜スープ・ウインナー・ポテサラ・茹で玉子と朝からガッツリと食べることができました。ジャムのリンゴとルバーブ(酸味有)は樺の木の自家製です。とっても美味しい朝食でした。

→ 「やっぱり!」と思った男の子の行動。直弥君を筆頭に暖炉の火を見ていました。直弥君は子どもの頃も早朝から一人で暖炉へ来ていました。彼はとても懐かしいと言っていました。



↓ 天気は快晴です。個々に板を装着して歩く練習です。初心者はずり1本だけ板を着けます。少し慣れたところで反対側をして両足装着のステップです。その後はその場でジャンプ・キックターン・起き上がる練習です。クロカンの板は軽く操作は簡単。



↑ クロカンは踵が上がるので歩くのが楽です。でも踵が上がると左右にずれることもあって、つま先のコントロールが必要です。子どもの感覚は素晴らしく半日ですぐに慣れました。

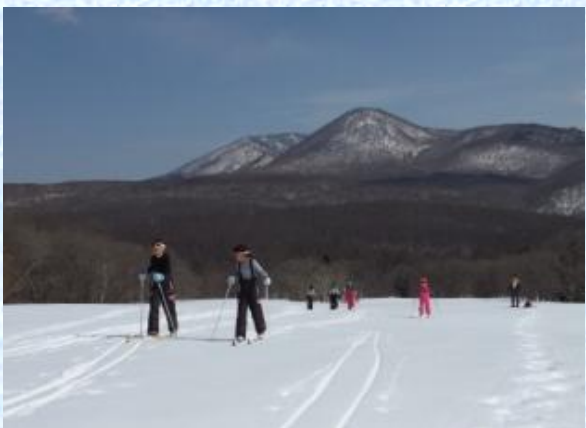
↓ 雪のテーブル作り。みんなでグルグル回って踏み固めたら座布団を敷いて完成です！

→ 戸隠山を見ながらの昼食。カレーも格別です。これこそ最高の贅沢です！



お昼を食べて一休みしたら牧場へ出発。夏に来たキャンプ場の隣にありますが冬は誰も来ないので一面の銀世界です。誰も歩いていない雪の上に自分のシュプールを描くなんてとても気持ちいい。正面には山がそびえ立ち最高のロケーション。夜は明日のカンジキの講習会です。

3/30(木)



→横は200m・縦800m位の広々とした新雪の上を滑る。正面に山を見ながら斜面をず〜っと滑ることができます。難点はリフトがないこと!?!ですね。



→壁の高さ2mはあるでしょうか。これが戸隠の積雪です。車が通れるように除雪した所です。この奥に牧場があります。



←夕食の様子です。
カブのひき肉和え・厚揚げチーズ挟み・山芋でメインはサーモンソテーです。



食後は明日のハイキングのおやつでチーズフォンデュをするための準備です。パンを切り材料・道具を分担して持ちました。

↓カンジキの講習会。明日はカンジキを着けて山歩きです。結び方をしっかり覚えてくださいね。



↑最後はアイスで仕上げ

3/31(金)



カンジキを着けて山歩きです。今回はリフトに乗って山頂まで行きます。リフトを降りる時にはカンジキなのでダッシュしないとならないので冷や冷やです。残念ながら曇り一時雪で遠くの景色は見れませんでした。でもラッキーなことに頂上に着いた時に一瞬雲が切れて日本海が見えました。



←朝食は五穀米です。温泉玉子・レンコンの炒め物・モロコインゲン味噌和え・シシャモと朝食でもおかずがたっさんです。味噌汁にご飯はお代り自由！

↓リフトを乗り継いで山頂へ到着。山頂で一瞬だけ雲が切れ日本海を見ることができました。長野から海が見えるなんてビックリですね。

→リフト乗り場でトイレをすまして装備を整えます。リフトが初体験の子も!!

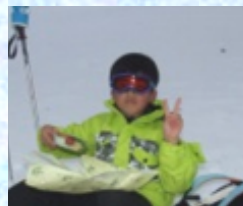
降りる時に引っ掛からないようリュックを前に抱えます。

←この部分が日本海です。



↑山頂からは下るだけですから歩くのは楽です。しばらくはスキートの林間コースを歩けるのでカンジキを着けなくても大丈夫です。途中から森の中へ入ることに。カンジキを着けて記念写真。→

↓森を少し歩いて平らな所を見つけてお弁当。木々の冬芽や動物の足跡(ウサギ・キジ)も見れました。お弁当は大きなお結びが2個に豚カツ・ゼリー等々。女の子は木陰で外でのトイレも体験!!



歩くと昼食のお弁当も一段と美味しい。広いスペースを見つけて準備していたチーズフォンデュです。それぞれのリュックから材料や器材を出して準備開始。チーズもうまく溶けて美味しいフォンデュが食べられました。夕食後は恒例のゲーム大会で大盛り上がり！

3/31(金)



↓ 森の中を歩いていると突如雪の大きな塊が！何でこうなったんだろう??不思議だ。

斜面の雪が割れている所に氷柱を発見。長い氷柱に感激して取っていました。

→ 牛乳を温めてチーズを入れトロトロになったところでいただきま〜す！雪の中で暖かいチーズは美味しい!!最後の鍋にくっついた物まで食べてくれました。

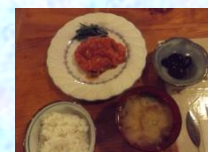


↓ 森の散策の最後はまたグレンデへでした。ハイキング最後の仕上げに急斜面をお尻滑りで降ります。思った以上によく滑ります。ウェアの背中がめくられて背中に雪が入ったりもしますがなかなかのスピードで楽しい。お尻はそれほど痛くありません。ただちょっと冷たいかな!? カンジキが邪魔にならないように足を上げて背中滑るような感じです。100m位は滑れるかも。



↓ 縦の木山荘に戻ってお風呂に入って一息。いつものようにリビングでウノやオセロのゲームをして夕食です。カンジキツアーやスキーを堪能して満足そうな笑顔です。

↓ 食後はお部屋でゲーム大会。初めはドラえもんクイズ。素良ちゃんがよく知っていてみんな唖然としていました。次に、わらしべジャンケン・洗濯バサミ積み上げゲームetc.と続き、個人得点を競って豪華景品??をゲットしました。就寝前にはアイスクリームで仕上げ。歯を磨いてオヤスミ〜!!速攻で寝てました。



↓ 前菜にサーモンサラダ・花豆で、メインがビーフステーキのトマトソースかけとボリューム満点!!

4/1(土)



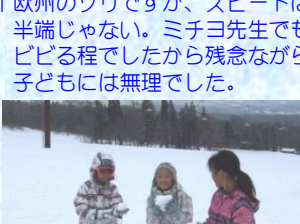
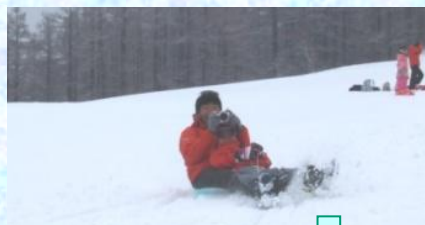
あっという間の4日間で今日はもう帰途につきます。でもまだまだ遊ぶことがたくさんあります。ゲレンデのクローズをねらってロングコースでソリです。ゲレンデのソリは思った以上にスピードがでて迫力満点です!! 昼食はパイプのけむりでビーフシチューにしてキャンプの仕上げです。

→朝食はパン・ポタージュに温野菜の目玉焼きのせ。良く遊ぶからでしょうか?みんなよく食べます。

↓今日も曇り空です。時折霧がでたりして写真がきれいに撮れなくて残念です。ゲレンデでソリをしました。まず初は転び方を練習です。足で止めようとするとスピードがあるので危険です。体を丸めるようにして倒れ止まるのを待ちます。



↓序盤は30m位を滑り、慣れたところで100m以上を一気に滑ります。ゲレンデはクローズしているので貸し切り状態でどこを滑ってもOKです。この長さを一気に滑るのはとっても楽しいです。ただ登るのが大変!!途中から2人3人と連結して滑ったり、競争したりと楽しみました。ソリを流さないように注意が必要です。そして最後はゲレンデの出口まで1000m位を一気に滑っておしまいです。



↑欧州のソリですが、スピードは半端じゃない。ミチヨ先生でもビビる程でしたから残念ながら子どもには無理でした。



↑スピード感は最高です。100m以上滑ってくると加速されていて止まるにも10m以上は体で雪の上を滑ります。その際に顔中が雪まみれです。時には手首や靴の中まで雪が入って冷たい思いをしますが、体を投げ出すのが最高に楽しいですよ。

↑佐藤先生と2人組で乗って動画撮影もチャレンジ。転倒でStop!!

←ヒソヒソ話?雪玉を作って誰に当てようとしているのか?



↑ソリを終えてパイプのけむりに到着です。マスターの高木さんも夏に続けての再来をとても喜んでいました。

お待ちかねのビーフシチューとクロワッサン。遊んで食べて遊んで、それも美味しいものの連発ですから、天国のような生活でしょうね。

それにしても、小さな体の何処にこれだけの食料が入るのか不思議です。それでちょっと休むとまた遊べる。その体力の復活するところも子どもの特権ですね。

シチューの後にはデザートシャーベットのサービスです。こちらも見事に完食しました。



パイプのけむりから縦の木山荘まで裏道を通ると斜面なのでソリで滑りながら進めす。急いで着替えて、荷物を詰めて帰り仕度したら、最後に記念写真を撮って山口屋さんへ。お土産を買ったらデカタクで長野駅へ。けっこう慌ただしいけれど新幹線に乗って帰途につきます。

4/1(土)



↓ 森の中を何処へでも行くことができます。これが冬の戸隠の素晴らしいところです。斜面を見つけてはソリで滑りながら縦の木山荘まで帰ります。まさに雪の中の生活体験を堪能できます。

この後が結構大変で、濡れた物を袋に詰め荷作りしなくてはなりません。新幹線に間に合うように身支度を整えて出発します。



↑ 出発前に縦の木のマー君と記念写真。この冬も最高の雪遊びをありがとうございました。食事のお世話だけでなく、スキー板の手配や雪の情報、グレンデの交渉などマー君のバックアップのお陰で活動できました。

↓ 最後は山口屋さんでお土産を買います。毎回おまけしてもらって、記念品までいただきありがとうございます。

↓ 最後の電車の旅もまた楽しい！ゲームをしたりおしゃべりしたりと過ごします。新幹線でも軽食で大きなおむすびを食べました。そしておやつも食べました。どこまでも果てしなく入るお腹ですね。神奈川に着けばきっと桜がさいて新学期もすぐそこ。季節をワープした感じです。





新雪の上に描いた1本のシュプール
滑っていく先はまったいらで何も無い
振り返るとシュプールがある
遠くの山を眺ながら滑る
風をきって滑っていく
シュルシュルと雪と板の音がする
この大自然を
独り占めしてしまったような気分だ
生かされているという感じがして
妙に嬉しかった
ありがとう とつぶやいていた

by さとう こうき